（１）米生産を巡る情勢

〔概要〕

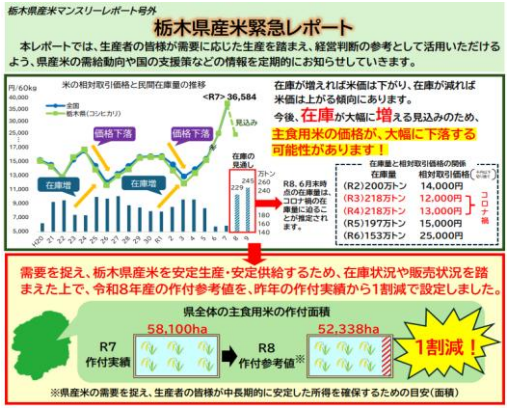
米の需給のひっ迫に伴う米価の高騰、いわゆる「令和の米騒動」が発生し、国においては異例とも言える備蓄米の放出が行われました。また、スマート農業技術の普及により大規模土地利用型経営体を中心に、直播栽培が県内でも広く普及（直播面積：(R6)596ha→(R7)927ha）してきました。

〔令和７（2025）年度の主な取組〕

① 需給動向などのきめ細かな情報発信

主食用米の価格安定に向け、農業者の適切な経営判断を促すため、県産米の需給動向を分かりやすく説明する資料を作成し、栽培講習会や巡回指導等を通じ、個別に説明を行いました。

今後も、「県版マンスリーレポート」としてタイムリーに情報提供するなど、需要に応じた米づくりへの更なる理解促進を図っていきます。



県版マンスリーレポート

② 超低コスト生産技術の取組推進（展示ほ設置）

農業者の所得確保に向け、省力化技術やスマート農業機器を組み合わせたモデル実証展示ほを設置し、導入メリット等の周知を図ってきました。

今後も、省力的な直播栽培など、規模拡大と併せて低コスト化を図る取組を推進していきます。



スマート農業機械を活用した省力化・低コスト生産技術